

平成24年度「情報通信普及促進委員会」実施事業一覧

開催月日 開催場所	事業内容	主催団体等	参加人数
東北情報通信懇談会通常総会 記念講演会			
24.5.21 仙台市	<p>「平成24年度東北情報通信懇談会総会記念講演会」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「地域ビジネスにとって一番大切なこと」 株式会社楽天野球団 代表取締役社長兼オーナー 島田 亨 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 情報通信月間推進協議会</p>	140名
ICT推進フェア 2012 in 東北			
24.6.27 仙台市	<p>「ICT推進フェア 2012 in 東北」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オープニング 基調講演 「危機管理と情報システム ～被災者支援システムと東日本大震災からの報告も交えて～」 兵庫県西宮市 CIO 補佐官兼西宮市情報センター長 (被災者支援システム全国サポートセンター長) 吉田 稔 氏 ●ICT利活用セミナー 「被災地におけるテレワークによる就労支援～就業のためのeラーニングと企業の在宅勤務導入支援～」 株式会社ワイズスタッフ 代表取締役 田澤 由利 氏 ●スマートフォン利用促進講座 「スマートフォンはどう進化したの～電波の賢い利用について～」 電気通信サービス向上推進協議会(ソフトバンクモバイル株式会社) 疋田 利幸 氏 ●総務省被災地域情報化支援セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・「東北メディカル・メガバンク構想 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の取組」 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 教授 中谷 純 氏 ・「電波利用による災害に強い情報連携システム 宮城県石巻市の取組」 石巻市企画部情報政策課 主査 佐藤 将 氏 ●情報通信技術研究開発促進セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・「ユビキタス農業に資するコンテンツ収集・利活用に関する実践的基盤技術研究開発」 宮城大学 事業構想学部 教授 富樫 敦 氏 ・「短距離無線技術を活用したフレキシブル公共交通システムの研究開発」 秋田大学大学院 工学資源学研究科 教授 行松 健一 氏 ・「心臓病の新生児のためのスケーラブル映像符号化技術による地域医療連携支援システムの研究開発」 岩手医科大学 医学部 教授 小山 耕太郎 氏 ・「音声による移動情報取得支援システムの研究開発」 東北福祉大学 総合マネジメント学部 准教授 岡 昌彦 氏 ・「スマートフォンを活用した道路状況センシングとその局所的 情報交換のための車車間通信の研究開発」 福島県ハイテクプラザ 濱尾 和秀 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 東北総合通信局 情報通信月間推進協議会 電波利用推進東北フォーラム 東北電気通信協会の</p>	600名

電波利用推進セミナー（「ICT推進フェア 2012 in 東北」の一部）			
24. 6. 27 仙台市	<p>上記「ICT推進フェア 2012 in 東北」の「総務省被災地域情報化支援セミナー」の一部を電波利用推進セミナーの位置付けとして開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「電波利用による災害に強い情報連携システム 宮城県石巻市の取組」 石巻市企画部情報政策課 主査 佐藤 将 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 電波利用推進東北フォーラム 東北総合通信局</p>	120名
電波環境セミナー（電波の安全性に関する説明会 in 鶴岡）			
24. 10. 16 鶴岡市	<p>「電波の安全性に関する説明会 in 鶴岡」を開催</p> <p>本説明会は、携帯電話の普及など電波利用が身近になっている中で、より安全で安心な電波利用環境の実現に向けた総務省の施策や、電波の性質とその安全性などについて、一般の方を対象に分かり易く説明しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「電波の安全性に関する総務省の取り組み」 総務省 東北総合通信局 電波監理部長 小関 幸一 氏 ●「身の周りの電波とその安全性」 首都大学東京大学院 理工学研究科 教授 多氣 昌生 氏 ●「電波の安全性とリスクマネジメント」 国立保険医療科学院 生活環境研究部 上席主任研究官 牛山 明 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 東北総合通信局 東北電気通信協会の</p>	59名
情報通信講演会（平成24年度非常通信セミナー）			
24. 11. 30 仙台市	<p>最新の情報通信関連技術や、話題の人物、時代のキーワード的な情報通信に関連したテーマを取り上げ、セミナーを開催。</p> <p>今回は、「東日本大震災を踏まえた情報収集・伝達等の在り方」をテーマに「平成24年度非常通信セミナー」として開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「災害時における通信の確保と住民への情報伝達の在り方」 総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 重要無線室 室長 星 克明 氏 ●「防災無線での「命令調」の津波避難の呼びかけ」 NHK放送文化研究所 メディア研究部 主任研究員 井上 裕之 氏 ●「公共情報コモンズの取組状況」 一般財団法人マルチメディア振興センター プロジェクト企画部 担当部長 小林 正幸 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 東北総合通信局 東北地方非常通信進協会 東北電気通信協会の</p>	150名
情報セキュリティセミナー			
25. 2. 20 仙台市	<p>「情報セキュリティセミナー 2013 in 仙台」を開催</p> <p>本セミナーは、「情報セキュリティ月間」の一環で関連するもので、今年度は企業・行政機関等の情報システム利用者・責任者等を対象に、情報セキュリティに関する政策動向やサイバー犯罪の現状と対策、スマホ・タブレット端末を利用する上でのセキュリティ視点などの実例を幅広く紹介し、利用者の情報セキュリティ対策の向上を目的として開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「情報セキュリティに関する政策動向」 総務省 情報流通行政局 情報セキュリティ対策室 関沢 克美 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 東北総合通信局 宮城県警察本部 東北電気通信協会の</p>	105名

	<ul style="list-style-type: none"> ●「スマートフォン&タブレットの活用に向けたセキュリティの視点とBYOD」 アルプスシステムインテグレーション(株) 営業統括部 特販プロジェクト グループマネージャ 一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会 利用部会利用ガイドラインWGリーダー 松下 綾子 氏 ●「企業等に対するサイバー犯罪の現状と対策」 宮城県警察本部 生活安全部生活環境課 サイバー犯罪対策室 課長補佐 佐々木 友和 氏 		
コンテンツ流通促進セミナー①（東北デジタルコンテンツセミナー）			
24.6.28 仙台市	<p>「東北デジタルコンテンツセミナー 2012」を開催</p> <p>総務省では、昨年度に引き続き「国際共同製作による地域コンテンツの海外展開」に関する調査研究として、特に国内外で開催されている国際共同製作等の商談会を有効に活用したコンテンツ海外展開の推進方策等について調査検討を実施することから、この施策紹介を中心に総務省におけるデジタルコンテンツ製作の理解を深めることを目的に開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「地域コンテンツの海外展開について」 総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 撓上 貴士 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 東北総合通信局</p>	50名
コンテンツ流通促進セミナー②（東北デジタルコンテンツセミナー）			
25.3.5 仙台市	<p>「東北デジタルコンテンツセミナー 2013」を開催</p> <p>今年度二度目となるデジタルコンテンツセミナーの開催となる。本セミナーでは、地域コンテンツの海外展開促進施策を中心に、スマートフォンにおけるアプリの動作検証を行う施設整備など、総務省のコンテンツ関連施策の理解を深めることを目的に開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「総務省におけるコンテンツ製作の動向」 総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 課長補佐 山中 直弘 氏 ●「スマートフォンストラボみやぎの取組（課題）」 宮城県産業技術総合センター 商品開発支援班 班長 伊藤 利憲 氏 ●「情報通信ベンチャー支援センターについて」 独立行政法人 情報通信研究機構 産業振興部門 事業課支援室長 佐藤 好英 氏 	<p>主催 東北情報通信懇談会 東北総合通信局 東北電気通信協力会</p>	60名

平成24年度に実施したその他の主たる事業

- 1 「北海道・東北の連携によるICTセミナー ～防災・減災のために～」に対する開催支援（事務局事業）

大地震の発生が高確率で予想されている北海道道東地区の災害時における復興と的確な対策を行うため、東日本大震災を経験した東北の知見とノウハウを共有することを目的に、北海道テレコム懇談会と共催により平成24年6月20日（水）、札幌市においてセミナーを開催しました。

（1）セミナー概要

①主催者挨拶

- * 大久保北海道総合通信局長（北海道テレコム懇談会代表）
- * 村上東北総合通信局情報通信部長（東北情報通信懇談会代表）

②基調講演

演題：「非常時における情報通信と被災者カルテについて」

講師：宮城県 名取市 市長 佐々木 一十郎 氏

③講演 1

演題：「東日本大震災での臨時災害放送局の開局と役割」

講師：奥州エフエム株式会社 取締役放送局長 佐藤 孝之 氏

④講演 2

演題：「ICTと防災情報の伝達～北海道南西沖地震から東日本大震災～」

講師：公益財団法人ひょうご災害記念21世紀研究機構

人と防災未来センター 主任研究員 宇田川 真之 氏

⑤講演 3

演題：「災害による大崎市ホームページ代理掲載について」

講師：当別町 企画部情報課 主幹 垂木 裕 氏

（2）連携概要

東北情報通信懇談会として、基調講演及び講演1の講師2名を選定・招聘し、札幌での講演をいただく事務全体を担当した他、主催団体として按分経費の負担を行っています。

東北より招聘した2名の講演が全体のメイン的講演となり、当日テレビ報道されています。セミナー参加者は道内自治体を中心に約150名を集め、参加者からは今後予想される災害に対する防災・減災に大いに役立つとの感想が寄せられ、成功裡に終了しています。

2 運営委員会傘下への「耐災害・復興検討WG」の設置について（運営委員会）

（1）設置の背景

東北総合通信局が、東日本大震災による被災地の情報化計画の策定支援を行うことを目的に昨年 11 月「ICT復興街づくり検討会」を立ち上げ、支援を希望する自治体の公募を行い、女川町の採択を決定。「女川町ICT復興街づくり検討会（以下、「女川町検討会」）」として検討が行われることとなりました。

本女川町検討会の設立準備会から、当懇談会に対して、会員の豊富な経験や知見等のノウハウの提供をいただきたいとして、女川町検討会への委員の派遣要請があったことを受け、この要請に応えるため事務局で検討の結果、運営委員会の傘下に「耐災害・復興検討WG（以下、「WG」）」を設置することとしたものです。

（2）当懇談会からの委員派遣について

上記により設置したWGには、全会員に対するWG委員の募集により 8 会員からの立候補があり全て委嘱済みです。女川町検討会からの委員派遣要請に応えるため、派遣する委員はWG委員の中から運営委員長の指名により東北大学電気通信研究所教授鈴木陽一様に決定し、委員として女川町検討会に参加いただきました。

（3）WG活動

女川町検討会の設置(H24.12)により、H25.1～H25.3までの間に検討委員会の毎月開催が決定。当懇談会のWGでは、これらの会合で出た課題等を委員それぞれで検討いただき、その成果を女川町検討会に反映、本年 3 月 7 日に開催した第 3 回女川町検討会（最終）において検討結果をとりまとめ、女川町長に対して報告を行っています。

東北総合通信局では来年度も他の自治体を対象に同様の検討会を開催することから、当面平成 25 年度においては当懇談会におけるWGの継続を予定しています。

【東北情報通信懇談会の体制】H24.12～

